



Let's have a break!

国際特別委員会

世界のたばことたばこ税事情

10月1日から、たばこ税等（たばこ税、たばこ特別税、道府県たばこ税、市町村たばこ税）の増税により、たばこの販売価格が値上げされました。各たばこで消費税を含む税負担率は違っていますが、値上げ後は、紙巻きたばこのメビウスで62.59%となっています。

では、世界のたばこの価格状況はどのようになっているのでしょうか。広く販売されているマールボロ1箱の価格について見ていきましょう。

日本では、定価販売が義務づけられていますが、外国では定価販売ではなく地域や販売店により価格が違うところも多いようです。そこで相対的に比較してみると、オセアニア諸国が最も高く、次いでイギリスを含む北ヨーロッパ、カナダ、北米となっています。日本は、上位90ヶ国中45から

47番目くらいです。たばこの価格が高い国は、いずれも国民の健康向上のため喫煙者を減らすことを目的として高い価格設定（たばこ税等）がされています。

参考までに、日本が1箱20本入り460円であった当時、オーストラリア、ニュージーランドは既に2,000円を越えており、イギリス周辺諸国が1,400円となっていました。ちなみに、フィリピンは1箱140円程度、ベトナムは120円程度でした。

世界的には、まだまだ比較的低価格帯にある日本も今後、2019年10月、2020年10月とたばこ税等が増税され、消費税の増税と相まって、愛煙家には厳しい状況が続きそうです。

（田中久義）